

令和2年度
事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

社会福祉法人 美光瑞園会

令和2年度事業報告書

I 法人運営

1. 令和2年度総括

はじめに、令和2年度事業計画による基本方針に基づき、ここに障害福祉サービス事業が無事に完遂をみるにいたったことについては、関係する全役職員の協力と理解あつてのこととその職務努力を労い合いたい。

改正社会福祉法の施行以来、継続して重点項目に掲げていたガバナンスの強化、運営の透明性の確保、財務規律の強化、地域における公益的な取り組み等々についても、社会福祉法人としての公益性と非営利性に準拠した運営の方向性を堅持しつつ、諸課題に対し着実に取り組みが進められたものと評価される。

一方では、人材の確保と定着・育成に向けた取り組み、施設建物の老朽化への対応等、引き続き次年度への運営課題とされる事柄も少なくないが、今後共さらなる対応努力を続け、堅実で安定的な事業運営に向けて前進することが望まれる。

2. 理事会開催状況

開催日	審議内容	結果
令和2年6月10日	第1号議案 令和1年度現況報告書及び事業報告書	可決
	第2号議案 計算書類と財産目録	可決
	第3号議案 令和2年度決算監事報告について	可決
	第4号議案 定時評議員会の招集について	可決
令和3年2月16日	第1号議案 経営状況について	可決
	第2号議案 拠点区分別補正予算について	可決
	第3号議案 評議員会の日時について	可決
令和3年3月23日	第1号議案 令和2年度拠点区分別補正予算について	可決
	第2号議案 令和3年度事業計画について	可決
	第3号議案 令和3年度資金収支予算について	可決
	第4号議案 諸規定変更について	可決
	第5号議案 評議員会について	可決
	第6号議案 評議員選任・解任委員会について	可決

3. 評議員会開催状況

開催日	審議内容	結果
令和2年6月24日	第1号議案 令和1年度現況報告書及び事業報告書	可決
	第2号議案 令和1年度計算書類と財産目録	可決
	第3号議案 令和2年度決算監事監査報告について	可決
令和3年3月5日	第1号議案 経営状況について	可決
	第2号議案 拠点区分別補正予算について	可決
令和3年3月31日	第1号議案 令和2年度拠点区分別補正予算について	可決
	第2号議案 令和3年度事業計画について	可決
	第3号議案 令和3年度資金収支報告書について	可決
	第4号議案 諸規定変更について	可決

4. 内部監査結果

令和2年5月19日、法人監事による令和1年度決算関係諸表の監査を実施。

5. 人事管理

人事管理については、事業種全体では年度内において採用者数2人、退職者数6人であった。

事業別では、結果としては指定基準に定められる必要な職種の配置人員数を確保することができた。

従業職員の人事処遇については、配置転換希望者への配慮や産休・育休取得及び時短労働の促進等、労働法令を遵守し従業環境の整備・向上に努めた。

また、有能な人材の育成をねらいとし、各種の外部研修、勉強会等へ多職種職員を参加させ、職員自らが職務スキル向上をめざし仕事に自信と誇りを持ち取り組むことができるよう努めた。

6. 事業別職員配置状況（令和3年4月1日現在）

	常 勤		非常勤		計
	男	女	男	女	
障害者支援施設天心園	52	44	4	8	108
グループホーム天心園	4	3	0	15	22
就労支援センター天心園	5	5	0	5	15
計	61	52	4	28	145

II 障害者支援施設天心園

障害者支援施設天心園では、施設入所支援、生活介護、短期入所の指定障害福祉サービスを一体的に実施した。

利用率（稼働率）では、全般として前年度を下回る結果となった。理由としては、入院者、死亡による退所者の増加によるものである。

また、3つの単位を設ける生活介護では、生活介護1及び生活介護2が各々定員40人に対して平均利用者40人超という実績であった。生活介護3においては定員50人に対して平均利用者数47.1人余と前年度に対し改善しているが、まだ利用率が低く、改善の余地が残る結果となった。

1. 利用状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

サービスの種類	定員	開所日数	延べ利用者数	平均利用者数
施設入所支援	150	365	48,765	133.7
短期入所	4	365	30	
生活介護1	40	292	12,919	44.3
生活介護2	40	292	11,754	40.3
生活介護3	50	292	13,750	47.1

2. 利用者の入退所の状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

入所者 2人

退所者 10人（内、病死による退所者5人）

3. 安全衛生に関する取り組み状況

安全で快適な職場づくりを目的とし、5S活動の推進、ストレスチェックの実施、職場改善アンケートの実施等、年間を通じた安全衛生活動への取り組みを続けた結果、大きな労働災害等の発生もなく無事に経過した。

ストレスチェックの本格実施を行い、メンタルヘルスケアを重点的に行うなど、取り組みの改善を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、関係資料の掲示や注意喚起を定期的に行った。

4. 防災対策に関する取り組み状況

火災・台風等の災害の発生に備えた防災設備の保全及び安全環境の整備に努めた。各種の防災訓練については、コロナ禍の為、資料等配布のみの実施であった。

Ⅲ 就労支援センター天心園

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、事業収入及び作業による売り上げともに減少した。2人の利用者が退所し新規利用者は3人と利用者数は増えたが、新規利用者の入院や利用日数が少なく、事業収入の減少となった。退所理由については、自宅やA型事業所への移行となっている。売り上げの減少については、公共施設（生涯学習センター）での販売及び各種イベント販売の中止によるものが大きい。そのため、利用者工賃支給も大幅に減少した。

体験や実習受け入れに関しても、中止や延期となり、数名の受け入れしかできなかった。

1. サービス利用状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度
就労継続支援 B 型	定員 40 人	定員 40 人	定員 40 人	定員 40 人
延べ利用日数	8,835	8,436	8,186	7,817
開所日数	294	291	291	291
平均利用者数	30.0 人	28.9 人	28.1 人	26.8 人

2. 利用者居住状況（令和3年3月31日調べ）

	居住地別人数
施設入所	2 人
グループホーム	25 人
在宅	5 人

3. 体験や実習生の受け入れ

	人数	学校名
現場実習	3 名	小郡特別支援学校、太宰府特別支援学校
職場体験	3 名	田代中学校

4. 防災対策に関する取り組み状況

障害者支援施設天心園と連携を図り、避難訓練等の必要な防災訓練を年間計画に基づき実施した。

5. 利用者工賃支給状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度
県平均工賃	13,841	14,218	14,215	
就労支援センター天心園 利用者平均工賃	16,022	14,821	22,783	10,062

6. レクリエーション活動

新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

IV. グループホーム天心園

グループホーム天心園では、小郡ホーム、横隈ホーム、祇園ホーム、原田ホーム、基山ホームの5つの共同生活住居で利用者サービスを実施した。

利用率では前年度を下回る結果となった。背景としては、新型コロナウイルス感染予防の観点から実施した不要不急の外出・外泊の自粛の影響で情緒不安定となった利用者の退所や緊急事態宣言下での新規利用者の獲得に向けた活動が十分に出来なかった（新規相談、見学、面接、実習生の受け入れなど）ことが挙げられる。それでも、年度後半に4名の新規利用者を獲得（12月1名、2月2名、3月1名）したので、来年度の利用率はある程度上昇が見込める。

各関係機関との連携では、日中サービス事業所との連携をはじめ、医療機関や相談支援事業所との連携も密にとっており、今後も引き続き利用者サービスの充実、新規利用者の受入れ確保及び利用定着の促進を図りたい。

1. サービス利用状況

		令和1年度	令和2年度
共同生活援助		定員 37 名	定員 37 名
	延べ利用者数	112,62 人	11,093 人
	開所（算定）日数	365 日	365 日
	利用率	83.5%	82.1%
	平均利用者数	30.9 人	30.4 人

2. 利用者の日中活動の状況（日中活動サービスの利用状況）

	利用者別人数
一般就労	4 人
就労移行支援事業所	1 人
就労継続支援A型事業所	2 人
就労継続支援B型事業所	26 人
生活介護事業所	1 人